

資料館
だより

No.2
2005年
9月号

あおぞら財団附属の「西淀川地域資料室」は
大気汚染公害問題資料、西淀川地域資料な
どを所蔵しています。ぜひ、ご利用ください。
場 所:あおぞらビル5F
利用時間:毎週金曜日 10:00 - 17:00
(12:00 - 13:00は休み。祝日休み)



お知らせ 2006年3月からは「資料館」として新たに発足します。

歴史クイズラリーで君も「大野川緑道はかせ」に！
「夏休みワクワク資料室 大野川緑陰道路であそぼう」開催 8月22日～31日

「緑道って川だったの?」「きたな～い!ゴミがいっぱい!!」「グリコの前にグリコ橋があったんだ。へ～」
西淀川区民の憩いの場の大野川緑陰道路は、今年で33歳になります。緑陰道路の前身は川だったのですが、今では川だったことを知らない人が多くなりつつあります。

40年前の高度経済成長だったころ、工場廃水やゴミが川にすてられて、大野川は汚れてしまいました。埋め立てられ高速道路になる計画がありましたが、西淀川公害といわれる工場の煙や車からの排気ガスによる大気汚染に苦しんでいた住民は道路の計画に猛反発。緑がほしいという願いを署名にしたことで、計画が変更されて歩行者と自転車の緑陰道路が誕生しました。



め立てられ高速道路になる計画がありましたが、西淀川公害といわれる工場の煙や車からの排気ガスによる大気

汚染に苦しんでいた住民は道路の計画に猛反発。緑がほしいという願いを署名にしたことで、計画が変更されて歩行者と自転車の緑陰道路が誕生しました。

このような大野川の歴史をクイズにしたのが今回の展示です。クイズの参加者は約150人。それ以外にも通りがかりの人たちがたくさん見ていました。

10/4～14までは天満橋のOMMビル5階にて再び展示を行います。その他にも、りそな銀行などでも巡回展示予定です。

公害克服のシンボルの大野川緑陰道路を西淀川区のたからものとして大切にしていきたいですね。



資料館運営懇談会スタート
名称は「西淀川・公害と環境資料館」に

来年オープン予定のあおぞら財団附属資料館の運営や活動内容を検討する場として、「資料館運営懇談会」の第1回目を7月21日に開催しました。懇談会には、博物館の学芸員や歴史研究者、郷土史家、教育関係者など、さまざまな立場の人がメンバーになっています。メンバーどうしの熱い意見交換を経て、資料館の名称は「西淀川・公害と環境資料館」に決まりました。利用者の立場に立った運営をめざして、今後は資料の公開基準や利用規定などについて検討を重ねていきます。

診療所でビデオ鑑賞会
昭和初期の映像に思い出を語り合う

「長年、溝口歯車工場で勤めていたお義父さんに工場の映像を見せてあげたい」という岡崎久女さん(西淀川区在住)の発案で、7月26日に西淀川区内の診療所でビデオ鑑賞会を実施しました。ビデオは大阪歴史博物館が企画制作した「近代大阪の風景シリーズ 溝口歯車工場とその家族」です。溝口歯車工場は昭和5～56年まで同区内で操業していました。なつかしい映像に、参加者からは徹夜続きの仕事のこと、空襲のことなどが語られました。

西淀川の戦争遺跡

佃の「大東亜戦争被爆者鎮魂の碑」

あおぞら財団では、公害の資料だけでなく、地域の歴史がわかる資料も所蔵しています。今回は、西淀川に残る戦争の記憶がしるされた資料を紹介します。

西淀川区佃一丁目地区は1945年6月26日の空襲で、53人の犠牲者がでました。「大東亜戦争空襲犠牲者一切の精霊」の塔婆が建立されましたが、風化が激しくなったために、1985年に佃一丁目在住の堂見敏雄氏をはじめ、佃町の住民が集まり、被爆者鎮魂の碑があらたに建立されました。その経緯が



記されたファイルを、「西淀川の戦中・戦後展」(2000/8/23~28、あおぞら財団主催)のために堂見氏から借用し、後に寄贈されました。

碑は国道2号線沿い、ファミリーレストラン「ガスト」の横にあります。ぜひ一度立ち寄ってみてください。(林)

やかた 館 訪問記

その2 .

楽しい仕掛けがいっぱい
篠山チルドレンズミュージアム
兵庫県篠山市小田中572

JR「篠山口」駅からバスを2つ乗り継いで向かった先は「篠山チルドレンズミュージアム」。子どもたちの「生きる力」を育むことをめざした施設です。閉鎖された中学校の木造校舎をうまく再利用しており、どこかなつかしい雰囲気が漂います。

回転寿司ならぬ「回転おもちゃ」に見入ったり、「ひみつボックス」の中から好きなものを選んだり、壁の小さな穴からいろんな国の写真をのぞいたり、あおぞらカフェで自分で選んだお茶をいれてみたり、子どもたち、いや大人も含めて楽しめる仕掛けがあちこちにありました。とはいえ、お疲れお父さんがソファで居眠りしているのを何度か見かけましたけどね。(鎗山/2005年8月7日訪問)

ようこそ資料館へ ~ 資料館までの道 ~

西淀川地域資料室の所蔵資料は大きく3つに分けることができます。一つは図書を中心とした資料で、みなさんに貸出をおこなっています。後の2つは閲覧のみです。一つは西淀川公害裁判の訴訟記録。もう一つは住民運動団体や弁護団、西淀川地域の人たちから寄贈された多種多様な資料です。他では見られない資料も多くあると思います。ぜひ、足を運んでみてください。

* お知らせ *

2005年10月18日(火) 18:00~20:00
第26回西淀川地域研究会
「西淀川の公害をなくし、子どもを守る取り組みと教育」
報告者 西口勲氏(元・歌島中学校教諭)
主宰: 小田康徳氏 会場: あおぞらビル3F

2005年10月13日(木) 18:30~20:30
「シンポジウム地域資料の保存と活用を考える」
第6回準備研究会
尼崎市富松のバーチャル富松城歴史博物館の事例
主催: 地域資料シンポ実行委員会
会場: あおぞらビル3F

編集ボランティア・スタッフ募集中!

本紙の取材、編集を一緒にやりましょう。増ページを検討しています。あなたの出番です! ご一報ください。

「資料館だより」No.2 2005年9月号
(隔月1日、年6回発行)

発行所 あおぞら財団 西淀川地域資料室
編集スタッフ 鎗山善理子、林美帆

連絡先 (財)公害地域再生センター(あおぞら財団)
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1 あおぞらビル4F
TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885
Email: webmaster@aozora.or.jp
http://www.aozora.or.jp/shiryou